

【活動主体】段原地区町づくり協議会

概要

会員と地域の若手商店主等が、地域の宝である物の怪と河童伝説を主体とした商業活性化のため、ゆるキャラやグルメマップの作成・活用を通じて、商店の組織化を図り、広報活動を行っています。

活動内容

- 地域では段原再開発以前にはあった商店組織を再組織化したいという想いがありました。そこで、協議会が若手商店主等に呼びかけ、ゆるキャラ募集やグルメマップ作成を行いました。会議や店の取材を通じて、協議会と若手商店主や若手商店主同士の人間関係が醸成されました。
- 河童伝説にちなみ、協議会が河童のゆるキャラデザインを募集したところ、88点の応募があり、公開審査で「きゅー太」が選ばれました。着ぐるみを作成し、地域でお披露目した後、区内外の各種イベントに出演して活発に広報活動をしています。きゅー太のテーマ曲やダンスもできました。
- 2013年に発行した初版の「段原グルメマップ」には、飲食店、イベント等を紹介しています。2015年版、2018年版と改定するごとに、地域の魅力などを追加しています。掲載店からの広告料やきゅー太の出演料を収入として活動しています。



活動団体と事業の概要

活動団体	段原地区町づくり協議会
活動場所	段原地区
活動時期	通年
スタッフ	14名

事業費	1年目(平成25年度):70万円 2年目:52.8万円 3年目:30万円
補助金以外 の主な収入	会費:1年目:5万円 2年目:4万円 3年目:16.6万円 協賛金:1年目:18.4万円 2年目:24万円 3年目:2.3万円
主な支出	マップ作成に係る費用(26.5万円) ゆるキャラ制作に係る費用(24万円)

ポイント

- ★ 若手商店主等に参加を呼びかけ、取組を通じて、グルメマップ作成だけに限らない、地域活動の担い手の獲得につなげました。
- ★ グルメマップ広告料の引き上げや、きゅー太の出演が増えることで、収入増となり、2~3年に1回のマップ改定を続けています。